

(2) JEITA環境辞書と

JAMP_AISの関係

2009年5月21日
環境情報専門委員会
光安 力

- 目 次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISの関係

1.1) 環境辞書の概要 - 1

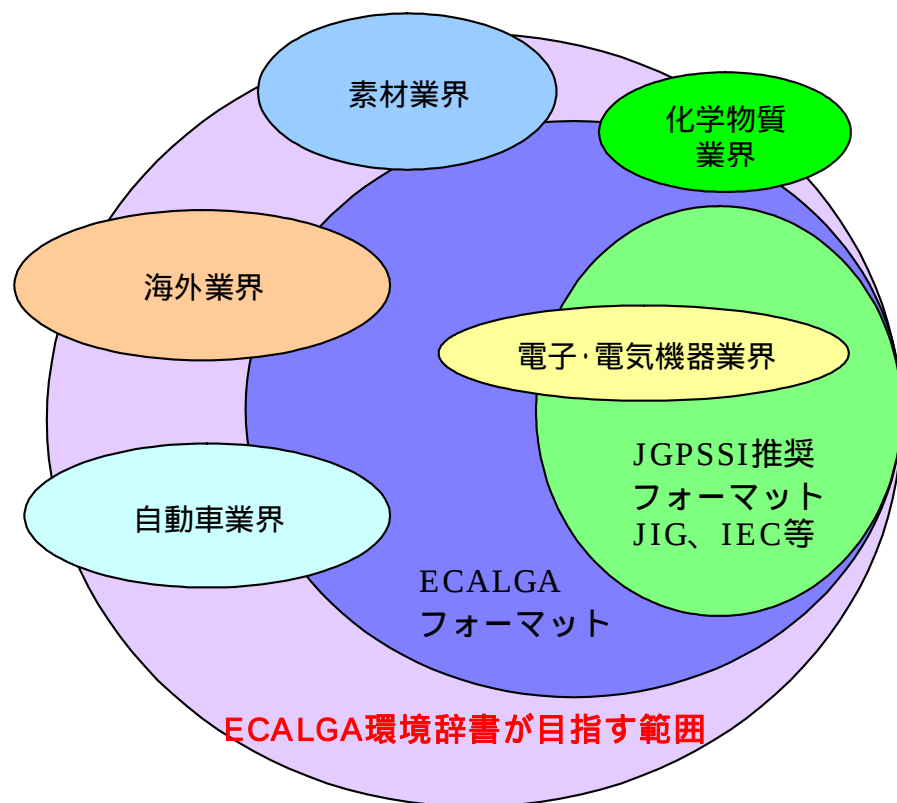
ECALGA環境辞書とは

標準を作成する有力な手法として辞書の活用があげられる。一般的に辞書とは”ことばや漢字を集め、一定の順序に並べ、その読み方・意味・語源・用例などを解説した書“であると広辞苑に記述されている。JEITA / ECセンターで扱う辞書も同様な性質を持っているが、コンピュータ可読形式となっているところが特徴的である。

ECALGA環境辞書は活用企業、提供企業双方で使用する用語(語句・単語)とその意味を整理し標準化したものと企業間でデータを有効する交換方式の標準化及びその運用を定めたものである。この辞書を活用することによって環境情報の共有とスムーズなデータ交換の運用を図ることができる。

1.1) 環境辞書の概要 - 2

ECALGA環境辞書の範囲と構造



項 目	内 容
階層構造	1) 製品 中間層 最下層 材質 物質 (適用法律)
	2) 製品 企業間情報
	3) 製品 構成製品
	4) 製品 物質群 使用用途分類(均質材料) (は物質の塊りの大きさを表す)
物 質	可能な物質すべてを対象とする (物質群または例示物質)
外部形式	XML (CSV外部ファイル連携)
辞書構造	JEITA / ECセンターで定めるJEITA環境辞書標準に従う
他標準との関係	JAMP / AISを基本に構築 JGPSSIを取り込んだ標準

1.1) 環境辞書の概要 - 3

辞書の構成 辞書には1) 環境定義書、2) 辞書CSVファイル、3) システム標準及び4) 関連資料がある。

1) 環境定義書はクラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義で構成されている。

1.1) クラス定義とはプロパティの括りと階層構造の入れ子及び繰り返しを定義したものである。

CODE	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	PREFNAME.JA	分類名(階層)	VB	CODE	PARENT	edit	改訂理由	VERSI ON	PREVS ION	PREFNAME.EN	PREFNAME.JA	SHORTNAME.EN	SHORTNAME.JA	SYNWA ME EN	SYNWA ME JA	DEFINITION.EN	DEFINITION.JA	DEFSOURCE	NOTE.EN	NOTE.JA	REMARK.EN	REMARK.JA
KJAB01	KJAB01							環境情報/JEITA ROOT COMPONENT	環境情報/JEITA ROOT COMPONENT		KJAB01	ROOT			001	001	ENVIRONMENTAL INFORMATION/JEITA ROOT COMPONENT	環境情報/JEITA ROOT COMPONENT	ENVIRONMENT/ROOT	環境/ROOT			Environmental/JEITA ROOT COMPONENT	環境情報/JEITA ROOT COMPONENT		Common information to the product is described.	製品に共通する情報を記述する。	Maximum occurrence count is 1	最大出現回数 1
KJAB02	KJAB02	KJAB02						環境情報	→環境情報		KJAB02	KJAB01			001	001	ENVIRONMENTAL INFORMATION	環境情報	ENVIRONMENT INFO	環境情報			Environmental information	環境情報		Common information to the product is described.	製品に共通する情報を記述する。	Maximum occurrence count is 1	最大出現回数 1
KJAB14	KJAB01	KJAB14						企業間情報	→企業間情報		KJAB14	KJAB01			001	001	INFORMATION BETWEEN ENTERPRISES	企業間情報	ENTERPRISE INFO	企業間情報			Information specified between enterprises	企業間で指定する情報		Information specified between the enterprises is described.	企業間で指定する情報を記述する。		

1.2) プロパティ定義とはクラスとの関連と項目の属性(データの種別、用語の説明、必須条件等)を定義したものである。

CLASS CODE	Q	M	I	ed	クラス名称	Code	edit	改訂理由	VERSION	PREVIOUS	PREFNAME.EN	PREFNAME.JA	SHORTNAME.EN	SHORTNAME.JA	SYNNAME.EN	SYNNAME.JA	PREFSYMBOL	UNITS	LEVEL	DATATYPE	DEFINITION.EN	DEFINITION.JA	DEFSOURCE	NOTE.EN	NOTE.JA	REMARK.EN	REMARK.JA	GEOMDINT	利用事例	記述事例	記述形式	格付ロイ ティ	自動化	
KJAB17	N	O	P		JAMPシート	KJE134			001	01	Sheet GP identification	シートGP識別	Sheet GP ID	シートGP識別						String	Sheet GP identification	シートGP識別						03S005						
KJAB17	N	M	P		JAMPシート	KJE135			001	01	Sheet type	シート種類	Sheet type	シート種類						Enum	Sheet type	シート種類						03S005						
KJAB17	N	O	P		JAMPシート	KJE038			001	01	Sheet arrangement number	シート整理番号	Sheet number	シート整理番号						String	Seat arrangement number	シート整理番号						03S004						
KJAB17	N	M	P		JAMPシート	KJE136			001	01	Use format	使用書式	Use format	使用書式						String	Use format	使用書式						03S005						
KJAB17	N	O	P		JAMPシート	KJE137			001	01	Submitted date	提出年月日	Submitted date	提出年月日						Date	Submitted date	提出年月日						03S005		2009-01-31				
KJAB17	N	M	P		JAMPシート	KJE016			001	01	Date of first edition issue	初版発行年月日	Creation date	初版発行年月日						Date	Date of information publication	情報の開示日付		The date which disclosed information first	情報を最初に開示した日付。	This information shows the date by which Environmental information was created	本情報は、環境情報の最初に作成された日付を示す。情報誌更新の場、最終改訂日付を	03S001		2009-01-31				

1.1) 環境辞書の概要 - 4

1.3) プロパティ値定義とは値のリストを定義したものである。

No	edit	Property Code	PropertyName	PropertyValue.EN	PropertyValue.JA	ValueMeaning.EN	ValueMeaning.JA
6		KJE135	シート種別	MSDSplus	MSDSplus	MSDSplus	MSDSplus
7		KJE135	シート種別	AIS	AIS	AIS	AIS
8		KJE176	集合化区分	0	0	Grouping nothingness	集合化無
9		KJE176	集合化区分	1	1	Making to compound	複合化
10		KJE176	集合化区分	2	2	Simplification	単純化
11		KJE177	報告単位	PC	PC	PC	個
12		KJE177	報告単位	MTR	MTR	MTR (length)	m<長さ>
13		KJE177	報告単位	MTK	MTK	MTK (area)	m2<面積>
14		KJE177	報告単位	MTQ	MTQ	MTQ (volume)	m3<体積>

2) 辞書CSVファイルは定義書からコンピュータ可読形式に変換したものである。コンピュータのデータベースはこのファイルを基に構築する事が可能である。辞書変更に伴うデータベースの再構築にも使用可である。

- a) 環境分類辞書mas-clsdic.csv
- b) 環境プロパティ定義mas-prpdic.csv
- c) 環境分類プロパティ関連リストmas-capdic.csv
- d) 環境辞書プロパティ値リストmas-pvldic.csv
- e) 環境セグメント定義mas-pvldic.csv
- f) 環境テンプレート管理データmas-edltmp.csv
- g) 環境プロパティテンプレート定義mas-prptmp.csv

1.1) 環境辞書の概要 - 5

3) システム標準

システム標準は辞書に基づいて実装したデータをB to B間で情報交換する仕組みを標準化したものである。

- a) 環境情報利用者規約MANDSUS06
- b) 環境辞書システム標準MANDSUS11
- c) 検索エージェントメッセージ規約MANDSUS11a
- d) 検索エージェントメッセージDTD規約MANDSUS11b
- e) 環境情報表現規約MANDSUS11c
- f) 環境情報システムガイドブックMANDSUS12
- g) 環境情報コンテンツ利用ガイドラインDe利用者MANDSUS14
- h) 環境情報コンテンツ利用ガイドラインPe利用者MANDSUS15
- i) 環境辞書改訂時実装手順MANDSUS16
- j) 環境情報コンテンツ作成・利用上の注意事項MANDSUS17

1.1) 環境辞書の概要 - 6

4) 関連資料

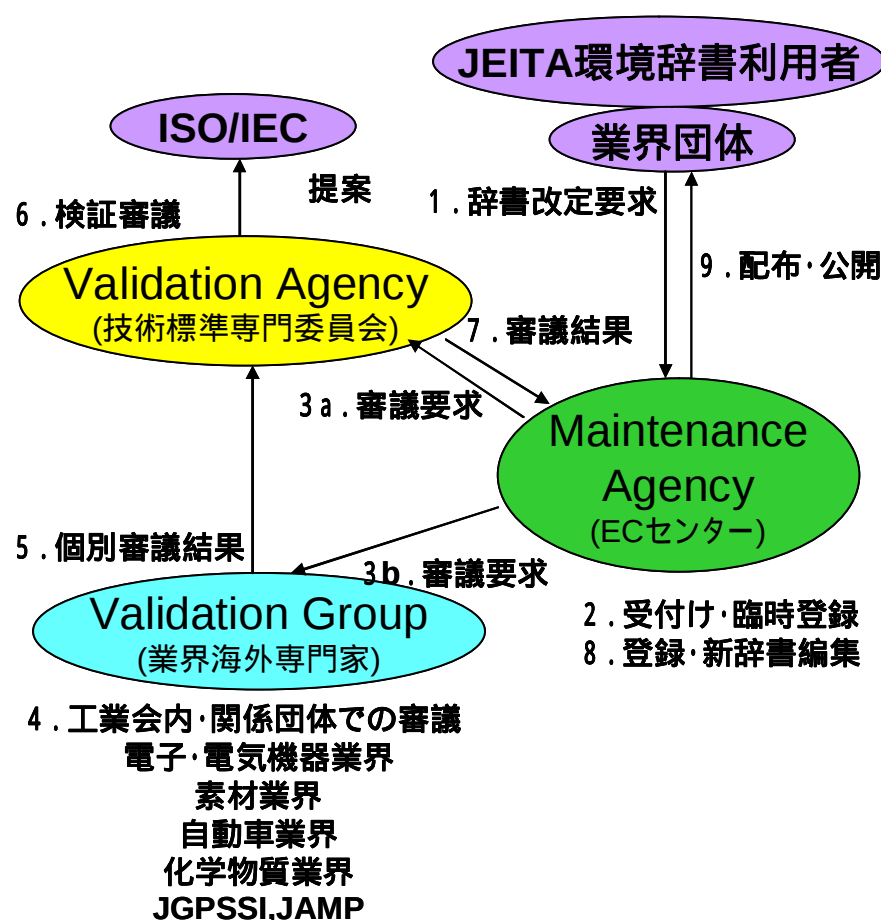
関連資料としては環境辞書を維持管理する為の辞書記述規約、改定規約、等が整備されている。

- a) 環境辞書CSVファイル仕様書MANDSDS01
- b) 環境分類辞書の記述規約書MANDSDS02
- c) 環境プロパティの記述規約書MANDSDS03
- d) 環境プロパティ値リストの記述規約書MANDSDS04
- e) 環境テンプレート標準の記述規約書MANDSDS05
- f) 環境辞書記述規約書(要約版)MANDSDS06
- g) 環境辞書ファイル仕様書MANDSDS07
- h) 環境辞書の単位及びコードに係わる細則MANDSDS08
- i) 環境辞書の改訂要求受付の手順及び方法MANDSDS12

1.1) 環境辞書の概要 - 7

JEITA/ECセンターにおける標準化組織体制

辞書標準の維持管理体制



- 最新辞書の確立(JEITA環境辞書)
- JEITA環境辞書利用者からの改定受付け
- 業界・グローバルな連携・強調
- ISO・IECとの連携・提案

辞書の役割

- ・環境情報をコンピュータ可読な表現として標準化
- ・部位名、質量などの記述において表現体系を明示し単位、使用文字、検索属性などを決定
- ・環境情報の作成、検索等の利便を図るため、生産BOMを考慮した構造

辞書ファイル

環境分類辞書
環境プロパティ定義
環境分類プロパティ関連リスト
環境辞書プロパティ値リスト
環境セグメント定義
環境テンプレート管理データ
環境プロパティテンプレート定義
環境分類出現回数ファイル
環境プロパティ出現回数ファイル
BtoB間情報交換AISスキーマファイル
BtoB間情報交換MSDSPlusスキーマファイル
環境物質群分類コード定義ファイル
環境例示物質分類コード定義ファイル
環境使用用途分類コード定義ファイル
環境辞書の総合EXCELファイル

辞書の維持管理

- ・広く普及を図る為、辞書標準はECセンターホームページより配信
- ・改定要求を専門家グループで評価し辞書に反映

- 目 次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISの関係

1.2)スキーマの概要 - 1

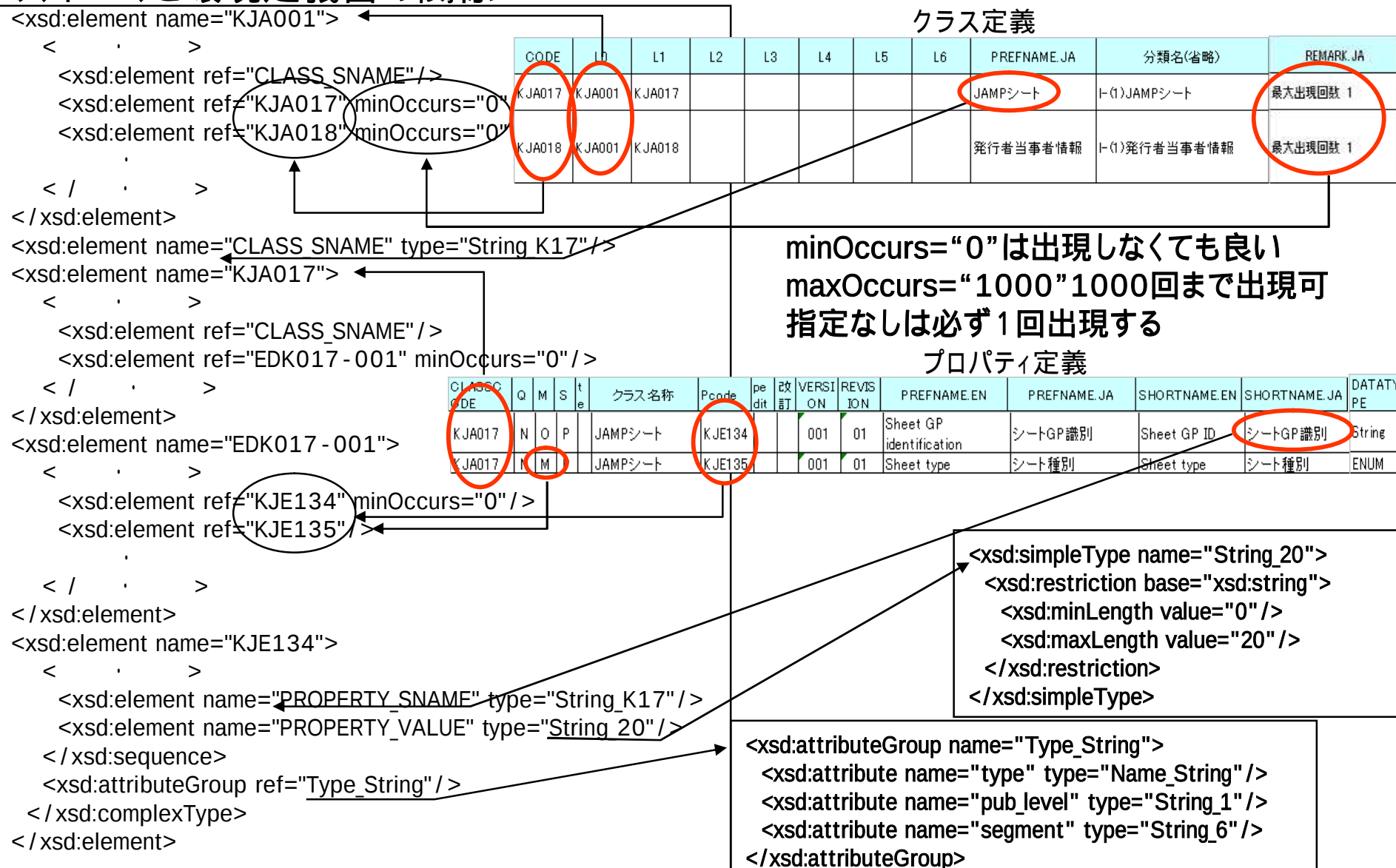
スキーマとは

データ交換をXML形式で行う時のデータ構造と出現回数とデータ種別及びデータリスト等を記述したものである。スキーマ自身もXML形式で記述される。XML形式とは開始タグと終了タグの間にデータを記述するものである。

JEITAで作成するスキーマは環境定義書(クラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義)とシステム標準(環境情報表現規約)を基に作成する。その目的はXMLデータ作成時またはXMLデータ受け取り時にデータの整合チェックを行う為のものである。この事によってデータ交換におけるデータ精度の向上が図られる。

1.2)スキーマの概要 - 2

スキーマと環境定義書の関係



1.2)スキーマの概要 - 3

スキーマとシステム標準の関係

```
<xsd:element name="KJA001">
  < . . .
  <xsd:element ref="CLASS_SNAME"/>
  <xsd:element ref="KJA017" minOccurs="0"/>
  <xsd:element ref="KJA018" minOccurs="0"/>
  . . .
</ . . . >
</xsd:element>
<xsd:element name="CLASS_SNAME" type="String_K17"/>
<xsd:element name="KJA017">
  < . . .
  <xsd:element ref="CLASS_SNAME"/>
  <xsd:element ref="EDK017-001" minOccurs="0"/>
  </ . . . >
</xsd:element>
<xsd:element name="EDK017-001">
  < . . .
  <xsd:element ref="KJE134" minOccurs="0"/>
  <xsd:element ref="KJE135"/>
  . . .
</ . . . >
</xsd:element>
<xsd:element name="KJE134">
  < . . .
  <xsd:element name="PROPERTY_SNAME" type="String_K17"/>
  <xsd:element name="PROPERTY_VALUE" type="String_20"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="Type_String"/>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
```

環境情報システム標準環境情報表現規約の
3.2タグ説明を参照し記述様式はXML
仕様、構造はシステム標準に従って記
述する。

- 3.2.1 XML宣言
- 3.2.2 XML環境情報タグ<DESCRIPT>
- 3.2.3 機関コード情報タグ<ORGANIZATION_CODE>
- 3.2.4 ベンダ情報タグ<VENDOR>
- 3.2.5 バージョンタグ<VERSION_NO>
- 3.2.6 製品コードタグ<PRODUCT_NO>
- 3.2.7 言語識別タグ<LANG>
- 3.2.8 クラスタグ<\$CLASS\$>
- 3.2.9 テンプレート情報タグ<\$TEMPLATE\$>
- 3.2.10 プロパティ情報タグ<\$PROPERTY\$>
- 3.2.11 プロパティ値タグ<*_VALUE>
- 3.2.12 添付ファイル情報タグ ATTACHMENT_FILES>

- 目 次 -

1 . JEITA環境辞書

1.1) 環境辞書の概要

1.2) スキーマの概要

2 . JEITA環境辞書とJAMP_AISとの関係

2.1) J E I T A 環境辞書と J A M P _ A I S との関係 - 1

標準AIS作成システム(要求仕様書)

標準AIS作成システム(要求仕様書)はJ E I T A - AIS作成支援ツールの基本部について規定したものである。

AIS							JETTA 環境辞書			
標題										
番号	標題名称または 項目名称	半角 / 全角	文字 種類	字 数 制 限	字数	必須	クラス コード [KJA***]	プロパティ コード [KJE***]	名称	注記

AIS項目はAIS作成支援ツールの規定事項でJEITA環境辞書項目は環境定義書(クラス定義、プロパティ定義、プロパティ値定義)の規定事項である。スキーマ(XMLデータ)はJEITA環境定義書にしたがって作成される。AIS作成支援ツールとJEITA辞書の関係は標準AIS作成システム(要求仕様書)のクラスコードとプロパティコードで関係付けている。

2.1) JEITA環境辞書とJAMP_AISとの関係 - 2

AISとJEITA環境辞書の相違点

表題名称または項目名称はツールの画面に表記される名称	JEITAの名称はXMLデータのプロパティの短縮名
半角 / 全角は指定あり	半角 / 全角は区分はない
文字の種類は数、英数、全て	文字の種類はstring, decimal, date

AIS							JEITA環境辞書			
標題										
番号	標題名称または項目名称	半角 / 全角	文字種類	字数制限	字数	必須	クラスコード [KJA****]	プロパティコード [KJE****]	名称	注記
2	発行者会社情報									
	会社名	半全	—	max	200	*	018	012	発行者当事者名	
	JAMP 会社ID	半	—	max	8		018	141	発行者 JAMP 識別	
	会社 ID/登録機関ID	半	—	fix	4		018	138	発番機関識別	
	会社ID/会社ID	半	—	max	13		018	011	発行者当事者識別	

- ご清聴ありがとうございました